

矢部高校通信

文責：校長

インターハイ 1500m



陸上は広島で行われました。レース前から緊張感と笑顔を忘れず今できることに集中していました。暑い中でしたが心に残るレースになったようでした。

日本拳法全国大会



大会は愛知県で行われました。県大会で手にした切符を胸に孤軍奮闘し試合に臨みました。全国の強豪相手に通潤魂を発揮してくれたと思います。

オープンスクール

多くの中学生と保護者の方に参加いただき、中には県外からの参加もありました。3グループに分かれすべての学科を体験する形式です。普通科では数学を用いた楽しい模擬授業。食農科学科はカップケーキ作り、林業科学科は木工体験など、生徒も協力し日頃の授業や学校生活が分かるものになっていました。今年は保護者の相談コーナーもあり、矢部高校の教育活動を理解していただく良い機会になったと思います。



学校農業クラブ九州大会



認知症パズルに取り組んだプロジェクト学習を熊本の代表として発表してくれました。継続性のある内容で他県に引けを取らない素晴らしいものでした。

家庭クラブ指導者養成講座



県内の生徒や指導者が集まった研修会です。このような研修で研鑽を積み、10月の発表会は矢部高校が運営します。300人規模の大会になります。

棚田復興ボランティア

毎年、食農科学科の1年生は、通潤橋を渡り白糸台地の棚田に続く水路掃除のお手伝いに参加しています。私も参加しました。8月の大雨の後で棚田や水路が崩れているところもあり大変でしたが、大切なお米を育てるために170年も続けておられることに感心しながら行いました。トンネルになっている部分にはコウモリが沢山いて、初めて見る生徒は大声を上げていました。短時間でしたが、地域の方々にはとても喜んでいただきました。山都町の宝を守るために行動すること、感じることは他にない大きな学びです！



絵本カーニバル



山都町図書館と林業科学科がコラボした「絵本カーニバル」。「どうぞのいす」の読み聞かせもさることながら、絵本に出てくるイスも子どもたちと一緒に作りました。絵本と林業教育がマッチした取り組みとなり、生徒も参加した子どもたちにとっても新鮮で良い経験となりました。後日、感謝状もいただきました。

インバウンド向け茶会でボランティア

通潤酒造寛政蔵で行われた外国人向けの茶会に茶道部の生徒が参加しました。お点前を披露する時は英語での解説も生徒が行いました。参加された海外の方も興味津々。世界的な抹茶ブームを感じます。生徒にとっては初めての経験となり、緊張もあったようですがコミュニケーションは取れていたようです。



育友会と清掃活動



始業式の夕方、生徒、職員、保護者とともにボランティア活動として校舎周辺やグラウンドの清掃活動を行いました。きれいな環境はきれいな心から！

大学生との進路相談会



大学生から直接話を聞くと夢が膨らんだり、これから取り組むべきことが見えてきます。よい刺激を受けてスイッチが入ったのではないのでしょうか。

表彰式



この夏休み中も各種発表会や大会、資格取得、ボランティアに取り組んでいました。充実した夏休みであったことが分かります。みんなよく頑張りました。

始業式



夏休み中の頑張りや戦後80年という節目の年であること、これからの矢部高校のあり方について話しました。まずは「笑顔であいさつ」を心がけます。